

「イタリア語のあいづち」

これまでの自分の歩みを振り返ると「あのとき確かに、イタリア語漬けの日々を過ごしたなあ」と感じられる時期があります。そのひとつが、日本語-イタリア語辞書の改訂にたずさわった2006年春からの約2年間です。

当時、ほぼ毎日小学館に通って朝から晩まで過ごし、『和伊中辞典』(第2版)の原稿整理、修正、語彙の使い分け解説や語法の作成などに明け暮れていました。その際「あいづち」という見出し語の記載内容を見直したことが、とても印象に残っています。



遠足の子供たち

「雨」という名詞であればイタリア語ではふつう pioggia、そして「雨が降る」は piovere というように、一語で対応する語彙があるケースと違い、「あいづち」や「あいづちを打つ」には定まったイタリア語表現がありません。「鯉節」を見たことがないイタリア人に伝えようと思えば、素材や製法、使い方を盛り込んだ説明的な訳を使うことになるので、そのような場合にも「誰もが常に同じイタリア語表現で表す」とはならないでしょう。

しかし「あいづち」は「鯉節」とは違い、イタリア語圏においても日常的に広く見られる現象です。にもかかわらず、「昨日駅に行ったらね、」「うん」「券売機にお金を入れても何も買えないし返金ボタンも反応しなくなってね、」「えー！ それで？」という会話の「うん」とか「えー！」などというあの短い言葉たちは、イタリア語の世界では「まだ名付けられていない」ということになろうかと思えます。

「あなたの話をちゃんと聞いていますよ」を表す「あいづち」ですが、『和伊中辞典』(第2版)で新たに作成したイタリア語訳は、やや力点が違うところにある表現になっています。卓越した日本語の使い手であるイタリア人校閲者が交代で小学館に詰めておられたので、その先生方と相談しながら作った訳語です(注：電子辞書では(第1版)が収録されており、(第2版)は紙辞書や iPhone/iPad アプリ等でしか読めない模様)。

その際イタリア語訳に添えた注記が、「◆イタリア語の会話では日本語の会話ほどあいづちを打たず、ただ相手の話を聞くことが多い」というものでした。では、イタリア語会話の「あいづち」はどれくらい少ないのでしょうか。

それを解明(?)すべく、2010年夏に早稲田大学で行われた研究会で「日本語のあいづち、イタリア語のあいづち」と題した口頭発表をしたことがあります。

まず、あいづちを打つ頻度やその機能は、性差、年齢差、聞き手と話し手との関係などによって左右されると思われたため、できるだけ似た条件下で比べようと考えました。そこで使ったのが日伊のラジオ番組の録音です。いずれも健康番組で、(A)「司会の女性アナウンサーが男性の医師に話を振り、その日のテーマ解説をしてもらう会話」と(B)「女性リスナーによる電話相談を、司会の女性アナウンサーが聞く会話」を書き起こしました。

たった1ケースずつの分析でしたが、とにかく、浮かび上がってきたのは次の点です。(A)の場合、双方のあいづちの合計が日本語会話では「1分間に約12回」、イタリア語では「1分間に約1.7回」。(B)の場合、日本語では「1分間に約13回」、イタリア語では「1分間に約4.5回」。つまりこの結果のみに基づけば、イタリア語の会話では「日本語の感覚であいづちを打つと打ちすぎになる！」と言えます。「あいづちを10回打ちたくなるところ、2~3回に留めておく」というイメージでしょうか。

イタリア語会話で(A)(B)の頻度に大きな差があったのは、「司会者と医師」「司会者とリスナー」という関係の違いによるかもしれませぬ。「理路整然と話ができ



教会前で語らう人々

ような専門家」の話は、安心してただ聞いていればよい。しかし「どんな相談か、またどれほどまとまった話ができるかが未知数のリスナー」に対しては、なるべくスムーズに話を引き出したい気持ちから、あいづちが増えている可能性があります。

あいづちの種類としては、改まった状況下ということもあり日本語では「ええ」「はい」が多く、イタリア語では「si」「uhm」が主でした。「uhm」は軽く「ん」「ふん」「うん」と言っているように聞こえるあいづちです。印象的だったのは、イタリア語会話ではこれらのあいづちを挟みたくなくなる隙がほぼなかったこと。話はマシンガンのように繰り出され、あいづちが打たれることはあまり想定されていないようでした！道理で「名前はまだない」わけです……。

検定対策コラム： 様々な受動態をマスターしよう

今回は、動詞の受動態について解説します。受動態をつくるには、必ず他動詞の動詞を用います。自動詞は、受動態をつくれなないので、他動詞と自動詞を区別できるようにしなければなりません。

〔能動態〕

Leonardo ama Sofia.

「レオナルドはソフィアを愛している」

〔受動態〕

Sofia è amata da Leonardo.

「ソフィアはレオナルドによって愛されている」

①助動詞には、essere を用い、過去分詞は性と数に一致します。

〈直説法現在〉

I professori **sono rispettati** dagli studenti.

「先生たちは、生徒たちに尊敬されている」

〈直説法近過去〉

I professori **sono stati rispettati** dagli studenti.

「先生たちは、生徒たちに尊敬された」

〈直説法半過去〉

I professori **erano rispettati** dagli studenti.

「先生たちは、生徒たちに尊敬されていた」

②venire を助動詞に用いることもできますが、ルールがあります。venire は、単純時制にだけ使用され、複合時制には用いられません。

〈54回 2022年春季 準2級 N38〉

- L'autobus per la stazione sarebbe dovuto passare già mezz'ora fa, ma ancora non si vede!

- Guardi, signora, che la fermata del 40 _____ spostata in via Ameli.

a) hanno b) era c) è stata d) è venuta

「駅行きのバスは既に30分前にここを通るはずだったのですが、まだその姿が見えません！」「あの、奥さま、40番の停留所はアメリ通りに移動されましたよ」

上記の問題も、venire を助動詞に使用するルールに従って、d) è venuta は複合時制には使えません。essere を使った受動態の近過去、c) è stata が正解です。

また、venire は、過去分詞が、「状態を表す形容詞」でなく、「受動的な動作の過去分詞」であることを明確にするために、essere の代わりに用いられます。

La finestra è aperta ogni mattina.

「窓は毎朝開いている」

この場合の aperta は形容詞です。ただし、動作主の da ...があれば、「受動的な動作の過去分詞」となります。

La finestra è aperta da mio padre ogni mattina.

「窓は私の父によって毎朝開けられる」

La finestra viene aperta ogni mattina.

「窓は毎朝開けられる」

この場合の aperta は aprire の過去分詞。venire は、動作主 da ...がなくても、「受動的な動作の過去分詞」であることが明確となります。

③助動詞を使わず、3人称単数・複数の他動詞と代名詞の si を使って、受動態を表すこともできます。

In Italia **si mangia** tanta pasta. [単数形]

「イタリアではたくさんのパスタが食べられる」

In Italia **si mangiano** tantissimi dolci. [複数形]

「イタリアではとてもたくさんのドルチェが食べられる」

〈47回 2018年秋季 準2級 N37〉

Da qui _____ può ammirare un paesaggio molto bello.

a) lo b) le c) si d) ne

「ここから、とても美しい景色を眺める（景色が眺められる）ことができます」

受動の代名詞 c) si を入れると、「景色が眺められる」という受動態の文になります。

なお、si を用いた受動態にもルールがあり、特定の動作主を示さず、漠然とした一般的な事柄を表します。

〔誤〕 Questo libro **si legge da lui**.

上記のように、特定の動作主を用いて使うことはできません。ただし、

〔正〕 Questo libro **si legge da tutti**.

「この本はみんなによって読まれる」

のように、動作主を示していても、da tutti「みんなによって」と特定の人物を示さない場合には、da ...を用いることができます。

④andare を用いた過去分詞もあります。意味は「……されなければならない」です。venire と同様に、単純時制にしか用いることはできません。

I professori **vanno rispettati**.

「先生たちは、尊敬されるべきだ」

dovere を使って、以下のように言い換えることができます。

I professori **devono essere rispettati**.

ただし、andare + 過去分詞は、動作主を伴うことはできず、動作主を示したいときは、dovere を使います。

〔誤〕 I professori **vanno rispettati dagli studenti**.

〔正〕 I professori **devono essere rispettati dagli studenti**.

なお、distruggere、perdere、disperdere、smarrire、sprecare といった「消滅」「紛失」「浪費」などを意味する動詞の過去分詞と一緒に用いられるときは、essere + 過去分詞と同じく、「……される」という意味になり、複合時制も可能となります。

Quel patrimonio mondiale è andato distrutto durante la Seconda guerra mondiale.

「その世界遺産は第二次世界大戦中に破壊されてしまった」

<きっかけは「食」から>

イタリア語を学ぶきっかけは人それぞれ。私の場合はイタリアの人々とイタリア語で話したい、という思いから勉強を始めました。イタリア語にたどり着くまでに、英会話学校に通ったことがあります。成果は、外国人苦手意識を克服できたことです。次にフランス語を学ぼうとしましたが、数の数え方が私にとって理解することが難しく、脱落しました。そしてイタリア語を勉強するまでには、かなりの遠回りをしました。私はもともと勉強が好きではないので、避けていたのかもしれませんが。

最初は、イタリア旅行を通じて、イタリアを知ることとなりました。参加したツアーは東北初のチャーター便で行くスタンダードなイタリア周遊旅行でした。ミラノ、ヴェローナ、フィレンツェ、ローマ、ナポリの周遊旅行は、生涯忘れられない旅となりました。フィレンツェやナポリのラッシュアワーに遭遇し、バスの車窓から見るその光景は、とても興味深いものでした。大混雑する道を、仕事から家路につこうと、ルールを守らずに我先にと急ぐバイク。日本とのあまりに異なる交通事情に驚き、また、私にとってその光景がとても面白く映ったことが今でも新鮮に思い出されます。

イタリアをさらに深く知ることになったのは、「食」がきっかけでした。有名なシェフや料理家の教室に通ったり、パルミジャーノ・レッジャーノ（パルメザンチーズ）のセミナーへ参加したり、美食の国イタリアをだんだんと知っていききました。そのうちに自分の目、体でイタリアを感じたくなり、震災後の2012年に「Mi chiamo Yoko.（私の名前はヨウコです）」としか話せない程度の語学力でしたが、イタリアへの留学を決意しました。

留学先として決めたのは外国人に門戸を開いている大学があるペルージャでした。私が入学した年は初級クラスの人数がとても多く、クラス編成はイタリア語が全く分からない人のクラスと、少しできる人に分けられました。私は全くできないクラスへ入ろうと思っていましたが、「ABCはできる」ということで、少し理解できる人のクラスに入ることになりました。クラスは10人弱の生徒で、アメリカのアラスカ、南アフリカ、ギリシャ、中国から来た人たちがいましたが、日本人は私一人でした。私は英語ができませんし、クラスメイトに

日本語の話せる人がいなかったため、頼れる人のいない環境での授業についていくことがとても大変でした。けれど、後で考えるとこれが良かったのだと思います。

授業の休憩中は、英語のできない私と中国人のシオンさんと2人で動詞の活用を勉強しました。人生でこんなにも必死に勉強をしたことがあったかしら……。超初級から初中級に上がるまでは、本当に苦しかったです。特に苦労したのは、日本語にない表現でした。なかなか理解できず、夢の中でも文法を考えていたほどです。イタリアに留学する前



料理学校の仲間たちと

に基礎を固めていれば……と何度後悔したことでしょう。そして、大学のテストの成績は、正直なところ、文章読解、作文で点数をかせいでいましたが、文法はまるでダメでした。それでも、今ではイタリア語の料理のレシピを読めるまでになりましたが……。

イタリア留学中は食に関して色々なことを考えさせられました。ノンナ（おばあちゃん）は絶対に食べ物を粗末にしません。茹でたパスタ1本でも鍋に残しません。鍋をへらなどでかき混ぜて底にパスタが残っていないか、



郷土料理に興味を持った留学時代

念入りに確認して、きちんとすくい取ります。その一方、若いマンマは残念ながら残ったパスタを捨ててしまったりすることがあるようです。全員ではないでしょうけれど……。

私は留学当初からイタリアの郷土料理にとっても興味を持っていました。昔の人はどのようなものを食べていたのかしら？ 地域によってどのような違いがあるのか、知りたくて仕方がありませんでした。イタリアの郷土料理を知るために、専門書を読んだり、各地のノンナやマンマたちに料理を教えてもらいました。そのうちに私は cucina povera（貧乏人の料理）に魅力を感じ始めました。料理に華やかさはないけれど、体が喜ぶ料理ではないかと思っています。留学中にはイタリアの料理学校にも通っていたので、ペルージャの人気のレストランの厨房で1年ほど研修することができました。レストランのシェフはプーリャ出身の女性でした。マンマの料理と研修先のレストランの料理には「素材を引き出す調理方法」に共通点がありました。イタリアンと聞くと簡単で美味しいイメージを持たれている方が多いかと思いますが、簡単そうで実は難しい「素材が命」ということに気が付きました。イタリア留学をきっかけにして私の料理は変わりました。帰国後に私が作った料理を家族が食べて「イタリアに行った甲斐があったね」という言葉に、私の留学中の苦労が全て報われました。

実用イタリア語検定の勉強について、偉そうなことを言える立場ではありませんが、リスニングや文法の苦手な部分を理解し、一つ一つクリアしていききました。それから過去問題集を何度も繰り返して勉強しました。試験の1週間前からイタリア語検定協会のe-ラーニングシステムを利用して過去問題を実践形式でやっていきました。普段はNHKのラジオでイタリア語の勉強をしています。今の世の中はとても便利で、自宅でイタリアの映画を観ることができ、イタリアのラジオ番組もいつでも聴くことができます。日本に居ながらイタリアを感じることも可能になりました。これからも楽しみながらイタリア語に触れていきたいと思えます。イタリア留学経験は、私の一生の宝ものです。

2021年53回3級合格
マンマYoko（内藤洋子）

イタリア家庭料理教室
La Tavola Naturale
仙台日伊協会会員



LA_TAVOLA_NATURALE

検定ニュース

第 55 回秋季検定は 10 月 2 日、全会場で開催されました。コロナ前より 600 名あまり少ない受験者数でしたが、イタリアのローマ、ミラノ会場は 3 年ぶりの開催となり、感慨深いものがありました。

新型コロナのため控えていた会場でのアンケートも 3 年ぶりに実施し、1,280 名の方にご回答いただきました(回収率 86.6%)。各質問の上位 3 つの回答を右の集計表でご覧ください。また、季節外れの陽気のせいか「暑かった」「寒かった」というご意見が目立ちました。今後、運営マニュアルを改良し、皆様により快適な受験環境が提供できるよう努めます。残念なことに、試験中に携帯の着信音を鳴らした方がおられました。試験前に携帯の電源を切るよう、再三お願いしておりますが、そのような方は即座に退場していただくことになっております。継続なさった場合、今後は受験無効(全問 0 点)といたしますので、どうぞご注意ください。

一方で、以下のような有難いコメントも複数頂戴しました。

- 色々な検定を受けているが、どこよりも運営の方が優しくて、試験前のアナウンスも細かいことまで伝えてくれて嬉しかった。

詳しい集計結果は HP で発表しますのでご覧ください。

◆第 55 回 (2022 年秋季 志願者集計)

	札幌	仙台	新潟	東京	横浜	金沢	名古屋	京都	大阪	岡山	広島	福岡	宮崎	那覇	ミラノ	ローマ	計(前年)
1級	0	5	1	65	13	2	6	8	17	0	0	3	1	1	0	5	127 (105)
2級	2	3	1	106	19	0	10	10	39	1	2	6	0	0	2	4	203 (226)
準2級	1	5	1	97	34	2	13	13	33	3	2	10	0	1	2	3	219 (222)
3級	7	2	3	157	48	2	15	22	41	6	5	21	0	1	7	7	337 (400)
4級	8	3	5	170	46	5	23	54	58	8	9	34	1	1	3	9	437 (466)
5級	6	7	8	151	37	3	20	50	55	10	4	18	0	3	1	3	376 (353)
合計	24	25	19	746	197	14	87	157	243	28	22	92	2	7	31	15	1,709 (1,772)

<2023 年の試験日程ご案内(予定)>

◆第 56 回 オンライン IBT (Internet Based Testing) 方式 2023 年 3 月 12 日~3 月 19 日

IBT 方式とは、パソコンで自宅などから受験していただく方式です。上記期間内であれば、任意の時間に受験できます。実施級:準 2 級、3 級、4 級、5 級

◆第 57 回 2023 年 10 月 1 日

秋季は、従来通りに実会場での開催です。実施級:1 級、2 級、準 2 級、3 級、4 級、5 級

事務局よりホームページ活用をお願い www.iken.gr.jp

検定試験のお知らせだけでなく、情報交換掲示板・受験者の声・リンク集など様々な情報を掲載しております。豊富な過去問題を e-ラーニングやコンビニの e プリントで配布し、無料サンプルも大量に掲載しています。ご活用いただければ幸いです。

<div data-bbox="220 1691 580 1767" data-label="Section-Header"> <h4>意識はいつ生まれるのか 脳の謎に挑む統合情報理論</h4> </div> <div data-bbox="103 1780 335 2121" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="357 1783 745 1973" data-label="Text"> <p>「ただの物質である脳になぜ意識が宿るのか」という謎に挑み、実験と考察を繰り返しながら理論を打ち立てた著者たちが「脳内に意識が生じる条件」を平易な語り口で説いていきます。イタリア語で執筆された、科学読み物の翻訳書。</p> </div> <div data-bbox="357 2004 750 2163" data-label="Text"> <p>定価 2,420 円 (本体 2,220 円+税 10%) 発行・発売 亜紀書房 M・マッスィミーニ、G・トノーニ (著) 花本知子 (翻訳)</p> </div>	<div data-bbox="917 1691 1418 1767" data-label="Section-Header"> <h4>音声 DL BOOK これからはじめるイタリア語入門</h4> </div> <div data-bbox="802 1780 1046 2121" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1085 1783 1490 1973" data-label="Text"> <p>「わかりやすさ」にこだわった最良の入門書。シェアハウスを舞台にしたストーリー仕立ての会話例を使い、丁寧に文法解説。豊富な練習問題で、実用イタリア語検定準 2 級レベルまでの対策としても活用できます。音声 DL つき。</p> </div> <div data-bbox="1085 2004 1383 2130" data-label="Text"> <p>定価 2,200 円 (本体 2,000 円+税 200 円) 発行・発売 NHK 出版 花本知子 (著)</p> </div>
---	---

アンケート結果

1. イタリア語を学習する理由は何ですか	
イタリア語が好きだから	23%
文化が好きだから	18%
旅行したいから	18%
2. 伊検を受験した動機、資格取得の目的は	
学習の目標として	67%
留学・就職の語学力証明として	12%
資格取得が好きだから	10%
3. 学習に何を活用していますか	
市販の参考書や問題集	28%
NHKラジオ・テレビ講座	18%
過去問題集	16%
4. 苦手としている分野は	
リスニング	32%
文法	16%
作文	16%
5. 春のオンライン受験予定	
受験する予定である	53%
希望級が実施されないので受験しない	18%
オンラインは問題があるので受験しない	18%